

10月1日(木曜日)「驚くべき祝福」

【新改訳 2017】

ルカ 9.10-17

「……彼らは言った。『私たちには 5 つのパンと 2 匹の魚のほか何ともありません。私たちが……買うのでしょうか。』……するとイエスは、5 つのパンと 2 匹の魚を取り、天を見上げて、それを祝福して……与えられた。」(13-16 節)

この話も有名なもので、「5 つのパンと 2 匹の魚の奇跡」とか「五千人の給食」として知られています。

ここでも、多くの霊的教訓があり、読む度ごとに主の祝福の不思議さとすばらしさを教えられます。

まず、主は私たちの日常生活のごく普通の必要まで心配してくださるということです(1ペテロ 5.7)。また主は、今あるわずかなものでも、祝福して多くのものにすがることができるということです。私たちは、この時の弟子たちのように「……しかありません」という考えが先に立ちますが、大事なことは、今あるものを主の御手にゆだねることであると教えられます。その時、主はそれを祝福し、みこころのままにみわざを

なしてくださるのです。

～祈り～

主よ。あなたは、わずかなものからでも御手にゆだねられるものは、御思いのままに祝福されることを覚え、御名をほめたたえます。どうか、消極的な思いにならずに、あなたに信頼させてください。

【学びのために】

マタイ 14.13-21、マルコ 6.32-44、ヨハネ 6.5-13 参照。